

会 議 録

会 議 名	第4回森岡地区拠点施設基本構想・基本計画検討委員会	
開 催 日 時	令和8年7月30日(木) 午後3時40分から午後5時20分まで	
開 催 場 所	東浦町役場 合同委員会室	
出 席 者	委 員	小松尚氏(委員長)、鈴木賢一氏(副委員長)、榑原政策課長、中村財政経営課長、内田人事課長、山本防災課長、村上ふくし課長、新家子育て支援課長、青木教育課長、前床住民自治課長、戸田都市デザイン課長、川瀬建築施設課長、田中建設企画課長、静間土木管理課長
	事務局	政策企画部 鈴木部長、鈴木次長 財政経営課 中村課長(兼務)、久野課長補佐兼係長、稲丸主事
議 題 (公開又は非公開の別)	1 あいさつ 2 前回検討委員会の意見への対応について 3 今後の流れ	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)		
傍聴者の数	1名	
審 議 内 容 (概 要)	・政策企画部長から挨拶 ・委員の出席及び会議の成立を確認 ・傍聴者の確認 議題の審議内容は、下記のとおり	
備 考	—	

1 あいさつ(公開)
鈴木政策企画部長より挨拶。

2 前回検討委員会の意見への対応について（公開）

事務局より第3回検討委員会での意見対応等について説明し、意見交換を行った。

◇委員

P. 23 ではグラウンド北側案が否定されているが、整備中も 200m トラックを確保することが前提なのか。また、P. 31 で初めて南北に長い建物が示されているが、配置方針について現在の流れの説明で整理がついているのか疑問である。

◆事務局

グラウンドの大きさは、地区の人も利用することや現在の学校教育を継続する観点から現状確保を前提としている。

◇委員

グラウンドの確保を町の施設整備方針としての絶対条件としてしまって良いのかも検討していただきたい。保育園はここで良いのかということも疑問である。

◆事務局

P. 31 の図については、P. 29 で示したゾーニングをもとに建物配置をしている。具体の建物配置は基本設計の中で検討することであるため、現段階ではP. 29 のゾーニングをご確認いただきたい。イメージとしては、高低差をうまく処理できるように縦長に配置をしている。

◇委員

保育園敷地として西側の縦長の敷地を確保すれば、より良い配置になるのではないかと。

◇委員長

様々なパターンの案が考えられると思う。条件の優先順位が分かりにくいことで説明しづらくなっている。私が思うに、接道条件、機能間の関係が重要と考えており、そのほか、移行が円滑に進むか、200m トラックを確保できるか、民設民営による保育園が複合施設整備の妨げにならないか、といった点を考えていくと、P. 27 の案になるのはわかる。

◇委員

保育園は駐車場との連携が強く打ち出されているが、複合施設との関係は考えなくて良いのか。複合施設にも子育て支援的な機能があるため、そことの連携などは考えなくてよいのか。

◆事務局

複合施設の中になかよし学園が含まれるため、そことの連携を踏まえて検討している。駐車場位置を近づけたのは、送迎時に複合施設の駐車場を利用するためである。

また、新しく取得する土地には、4～5mほどの高低差がある。複合施設を一棟で整備するのか、体育館と分けて整備するのかなどは未定だが、高低差を上手く吸収できるような配置となると考えている。その高低差を踏まえると保育園敷地としては利用しづらくなると考え、候補から除外した。

◇委員

保育園敷地に駐車場はないのか。

◆事務局

職員用の駐車場は保育園敷地内に設けている。その他は複合施設と共用の駐車場を利用する。

◇委員

民設民営の保育園の具体像が見えない。どの業者が実施するのかなど詳細が見えてこないが、検討していないのか。

◇委員

必要面積については、募集定員を森岡保育園と森岡西保育園の認可定員の合計ではなく、利用定員の合計として算出したものを財政経営課に提供している。事業者はこれから募集するため、現時点では未定である。駐車場との距離は近い方がありがたく、施設との連携や接道条件を考えるとこの案になると考えるが、グラウンドと広く面する場合に、運用上どうなるのか想像ができていない。

◇委員長

保育園も、一つの事業として一体的なデザインとしていくためには、都市デザイン的な方針・条件を考えることが今後の課題と考える。ただ、現時点でこれらをすべて決めることは難しく、基本計画としては、大きな考え方もしくはコンセプトとして示せば良いと考える。

また、P. 29 のA案・B案へのストーリーはもう少し合理性を持って説明ができると良い。最終的なゾーニングとしてはこの案に辿り着くだろうと考える。保育園敷地として、B案が劣っている決定的な理由がないように感じるため、現段階としては両案併記としても良いと思う。

◇委員

豊田市立寺部小学校・寺部こども園では、同一敷地で小学校とこども園を複合化しており、2階で建物が接続され、交流が促されている。設置母体が違うため、難しさは理解するが、保育園と複合施設が完全に離れてしまっているのは、もったいないと感じる。

◇委員長

民間保育事業者へのヒアリングは実施しているのか。

◇委員

3月に既存園の民営化に関するヒアリングを実施した。

◇委員長

交流広場は住民の皆さんの意見を踏まえて設定していると考えるが、交流広場と複合施設がゾーニングとして切り分けられている点が気になる。複合施設と一体的に表現しても良いのではないのか。P. 21 の表現でははっきり分けられており、独立した屋外交流空間のように見えるが、ワークショップのとりまとめ結果を見るとシンボリックな屋外空間を求めている案ばかりではないように思う。

◆事務局

住民の皆さんは、豊田市の浄水小学校・中学校を思い浮かべて交流空間を求めていると考えられる。

◇委員長

そのような経緯であれば、現段階ではP. 21 配置関係性図の水色（学校・地域・体育館）の中に屋外交流広場を含め、もう少し様々な解釈ができるように表現すると良いと考える。

◇委員

ワークショップの意見を見ると、住民の皆さんは、施設の大屋根やアーケードの下に集まり、交流することを想定していると考えられる。この交流広場の配置では住民の皆さんの意見が反映されていない。

◇委員

8案から2案に絞り込む配置検討の中で、対象外の判断が少し乱暴と感じた。高低差があるから支障がある、間口が狭くて連携しづらいなどの表現にさらに説明が必要と感じた。また、「対象外」という表現はあまり使わない方が良いのではないかと。

◇委員

交流広場について、施設同士が緩やかにつながるランドスケープとしたいため、全体をつなげるような配置方針の表現ができると良い。

◇委員長

斜面地で緑も多い場所のため、周辺の自然との調和についても計画中に追加いただきたい。

◇委員

敷地内で駐車場がつながっていないと利用者にとって使いづらいため、敷地内での接続も検討いただきたい。

◇委員長

P. 31 のような建物配置の図示が必要なのか。現段階で書きすぎて詳細すぎる議論になるよりはP. 29 のようなゾーニングまでの表現にとどめておく方が良いのではないかと。

◇委員

ワークショップでは、さまざまな施設が入り混じった、夢のある配置が示されている。一方、今回の計画では施設が明確に分けられていて硬い感じがするが、ワークショップで示されたような配置は不可能なのか。

◆事務局

保育園の民設民営は決定事項のため一体化は難しい。

◇委員

民設民営となるとセキュリティや補償の問題がある。連携であれば問題ないが、施設としては分ける必要があると考えている。

◇委員

ワークショップの結果は、住民の皆さんは交流するために施設を集めることを求めていると受け取った。保育園だけ離すのは違うのではないかな。

◇委員

何をしたいかを大事にするべきだし、町から事業者へ積極的に働きかけるべき。補助金ありきで考えるものでもない。民間に建ててもらえば補助金は必要なくなる。将来的に、毎日学校に通わなくてもよくなる可能性もあるため、考え方を変えていく必要がある。

◆事務局

事業開始が少し先であり、現時点で参画意向を示した事業者が数年後に実施してくれるかもわからないため、現段階で事業者を決めていくのは難しい。民間事業者としても事業化を検討していくためには、具体性が必要と考える。また、収益施設でないので、PFI 等で費用面でのメリットを見込むのは難しいと考えるが、他自治体と同様に、基本計画を立てて、VFM を算定してから事業者へ具体的なサウンディングをしていくことになると思う。

◇委員長

異なる2つの事業で上手く連携していくにはどうしたらよいかといった議論をしているが、PFI 事業として実施する場合には、複合施設も保育園も一事業者に運営してもらう事業スキームで手を挙げてもらうことになるため、建築レベルでも一体的に整備していくことがあるかもしれない。単純な空間計画的には想いを詰めた絵を書くことはできるが、事業的にそれをどう動かすのかを考えていないと絵に描いた餅で終わってしまうため、町としてどれくらいのことをやろうと考えているかによって事業手法が変わってくると思う。空間や活動における連携などまで踏み込んだ計画とするのであれば、もう少し議論が必要だと感じる。本日の議論を聞いていて、皆さん複合化について非常に前向きに考えていることが分かった。庁内でも引き続き議論いただきたい。

3 今後の流れ（公開）

◆事務局

次回は10月を予定している。改めて詳細は連絡する。

◇委員長

今後、民間事業者ヒアリングを実施すると思う。本日の議論を踏まえ、民間事業者からも PFI 事業者として保育園事業者との協働にハードルがあるかどうか意見を聞き取れると良い。

◆事務局

民間事業者ヒアリングは、既に実施済みで、設計会社、建設会社、指定管理等の管理運営会社に対し意向を確認している。

◇委員長

事業の中に保育施設が入ってきた場合にどのようなことになるかということを追加で民間事業者ヒアリングを実施出来ると良い。